再生可能エネルギー導入計画 -太陽光発電を例として-
Renewable Energy in Grid -Mainly on Photovoltaic-

更新

対象国の条件：全世界　（島嶼国除く）

研修コース番号：(A)201984603-J002/(B)201984872-J002

案件番号：(A)201984603/(B)201984872

主分野課題：資源・エネルギー/再生可能エネルギー

副分野課題：

使用言語：(A)英語/(B)英語

案件概要

本研修では太陽光発電（PV）を重点的に再生可能エネルギーについて学ぶ。PV発電システム技術は比較的取り扱いが簡単であることから広く普及している一方で、不適切な設置や維持管理にかかる問題が増加しており、政府や関係機関が十分な指針を示すことが重要である。本研修ではPVの導入促進、維持管理のための必要な知識および技術の習得を目指す。

目標／成果

【案件目標】
研修で得られた知見を自国でのPV発電システムの導入・維持管理に応用したアクションプランが作成される。

【成果】
1. PV発電技術の基礎を説明することができる。

2. 系統連系技術について説明できる。

3. 太陽光発電を中心に再生可能エネルギー導入・普及のための操作方法について説明することが出来る

4. アクションプランが作成され、再生可能エネルギー普及のための政策立案能力が向上する

対象組織／人材

【対象組織】
中央・地方の政府組織のエネルギー政策担当部局、電力会社（公社）

【対象人材】
<職位>PV発電導入、維持管理担当者

<職務経験>再生可能エネルギー関連の業務に2年以上従事し、帰国後も継続的に勤務を行う予定のある者

内　容

1. 再生可能エネルギーの必要性・導入及び運営に係る課題、関連機器評価法（ライフサイクルコスト、アセスメント等）、等

2. グリッド理論と実例・実習（電力系統基礎、系統接続実習、系統接続規則、次世代電力ネットワーク、スマートグリッド、等）

3. 普及方法（コストダウン、政策、使用例の紹介、オフグリッドでの使用例等）・事業の経済性・再生可能エネルギー導入に係る諸制度と政府・自治体の関わり方、等

4. アクションプラン指導、作成、発表等

本邦研修期間	(A)2019/6/16～7/27 (B)2020/3～4
担当課題部	産業開発・公共政策部
所管国内機関	(A)JICA九州 (B)JICA九州
関係省庁	
実施年度	2019～2021

主要協力機関	(A)調整中/(B)調整中
特記事項及びホームページ	